

## PRESS RELEASE

2016年4月28日  
株式会社三菱総合研究所

## 2016年1-3月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より5月18日（水）に公表予定の2016年1-3月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2016年1-3月期	実質GDP	季節調整済前期比	+0.4%	（年率 +1.6%）
	名目GDP	季節調整済前期比	+0.6%	（年率 +2.4%）

2016年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.4%（年率+1.6%）と予測する。

消費は、耐久消費財や衣料品が不振であったものの、うるう年による食料品や交通費、医療費などへの支出増加（前期比+0.7%ポイント程度押し上げ）を背景に、前期比+0.8%と高めの伸びを見込む。住宅投資は、着工件数が持ち直しており2四半期ぶりのプラスとなろう。一方、設備投資は、供給側の統計に基づく暫定値では、資本財出荷の減少などを映じて3四半期ぶりの減少を見込む。輸出は、アジア向けは引き続き低調だが、欧米向けを持ち直しを背景に2四半期ぶりの増加を予測する。

2016年4-6月期は、うるう年要因が剥落することから、消費が前期比マイナスに転じると見込む。GDP全体としても小幅マイナス成長となる可能性があり、景気の回復力が鈍い状況が続くであろう。

表 2016年1-3月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2015年			2016年
		4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 予測
実質GDP		▲ 0.4	0.3	▲ 0.3	0.4
	季調済前期比年率	(▲1.4)	(1.4)	(▲1.1)	(1.6)
民間最終消費		▲ 0.8	0.4	▲ 0.9	0.8
民間住宅投資		2.3	1.6	▲ 1.2	1.0
民間企業設備投資		▲ 1.1	0.7	1.5	▲ 1.7
民間在庫	寄与度	0.3	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.1
政府最終消費		0.5	0.2	0.6	0.4
公的固定資本形成		3.2	▲ 2.1	▲ 3.4	0.7
財・サービス輸出		▲ 4.6	2.6	▲ 0.8	0.7
財・サービス輸入		▲ 2.5	1.3	▲ 1.4	0.1
内需	寄与度	▲ 0.1	0.1	▲ 0.4	0.3
民需	寄与度	▲ 0.3	0.2	▲ 0.4	0.2
公需	寄与度	0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	0.1
外需	寄与度	▲ 0.3	0.2	0.1	0.1
名目GDP		▲ 0.1	0.6	▲ 0.2	0.6
	季調済前期比年率	(▲0.2)	(2.6)	(▲0.9)	(2.4)
GDPデフレーター	前年同期比	1.5	1.8	1.5	0.8
国内需要デフレーター	前年同期比	0.0	0.0	▲ 0.2	▲ 0.4

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。  
表中の実績値は、2015年10-12月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。  
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

〈本件に関するお問合せ先〉

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号  
政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp  
広報部 上岡 瀬戸口 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp  
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。